

# 林業ってどんな仕事？

「林業ってどんな仕事？」という質問に簡単に答えるならば、「山に木を植えて、育てて、収穫する仕事」ということができます。そのための具体的な施業として「地拵え」「植栽」「下刈り」「枝打ち」「間伐」「主伐」といったものがあげられますが、しかし、このような作業をすることだけが林業ではありません。現場となる森林を集約化するため、所有者の方々へ今後の管理の方針や施業について提案し、意向も聞きながら作業を行うための準備を進めていく、そんな裏方ともいえる仕事も林業においてとても重要です。

本誌では、新潟県の森林で働く人や企業を紹介していきますが、森林の中で実際に作業をする人たちはもちろん、森林の現場からは少し離れて活躍する人たちも紹介します。「林業という仕事」を知るうえで、ぜひ参考にしてみてください。

## 目次

林業の基本作業…………… p.01

【林業マン・インタビュー】

- 武田 匡甫さん（くびき野森林組合）…………… p.03
- 菅原 史裕さん（村上市森林組合）…………… p.05
- 桐生 要一さん（中蒲みどり森林組合）…………… p.07

【林業事業体レポート】

- 南蒲原森林組合…………… p.09
- 有限会社 丸実…………… p.13
- カネヨ運輸 株式会社…………… p.17

林業労働力確保支援センター紹介…………… p.21

# 林業の基本作業

木材の収穫を

目的とする人工林。

この人工林を何十年もかけて育て木材を収穫し、その後また苗木を植えて育てていくというのが林業という仕事だ。ここでは林業の基本的な作業の流れを見てみよう。



### 地拵え（じごしらえ）



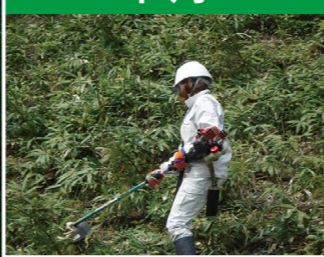
植栽するための準備作業。伐採跡地に残った枝葉等を集め、筋状に配置するなどして、植栽しやすい環境にする。

### 植栽



苗木を植える作業。1本1本、人の手でいねいに植え付ける。

### 下刈



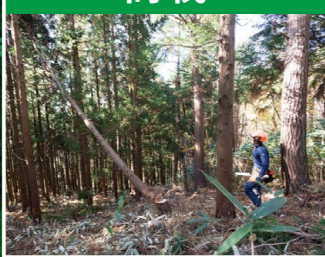
日光を遮り苗木の成長を妨げる草木を刈り払う作業。植栽後5年から10年程度、草木がよく成長する6月から8月にかけて実施する。

### 枝打ち



節のない優良な材を作るために行うが、雪害の防止や病虫害からの保護などの効果もある。枝を切ったときに樹皮がむけないように、基本的に木の成長休止期となる晩秋から早春にかけて行う。

### 間伐



成長して混みすぎた森林を適正な密度で、健全な森林に導くために、一定の割合で育成木を伐倒して間引きをする作業。利用できる大きさに達したものは搬出して出荷する。

### 主伐



収穫を目的に伐採する作業。主伐できる大きさに育つまでに、50～80年もの年月が必要。伐採後の木はトラックで運び出され、適材適所で使われる。